

平成28年度実施事業調査シート

■ 基本事項(事業の位置づけ)

No. 18	項目名	地域少子化対策重点推進事業費			主要な施策の 成果 ページ	43	担当 部署	子ども家庭部 子ども子育て推進課	
予算 科目	会計	1	一般会計		総合 計画 体系	分野	子ども・子育て		
	款	3	民生費			基本方針	地域ぐるみの子ども・子育て支援		
	項	2	児童福祉費			施策	子ども・子育て支援、ネットワークの充実		
	目	1	児童福祉総務費			当初予算における区分	新規施策・拡大施策・ 重点施策 ・その他		
事務事業	148	児童健全育成事業費		↑該当するものを○で囲んでください					

■ 事業概要(実施内容)

事業の背景	(事業開始の背景は？実施に至った経緯は？) 今後少子化が進むことが予想されているとともに、これまで地域社会や同・近居家族が担ってきた妊娠や出産、子育てへの支援機能が弱まりつつある。そのような状況の中で、当事者への支援に加え、社会全体で温かく見守り、支援していく機運づくりや情報を発信・共有する仕組みづくりが必要である。
事業の対象	(事業の対象、範囲となる人や物は何なのか？) 乳幼児から小学生の子どもを持つ保護者と子育て支援関係団体
事業の目的	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか？) 地域社会や同・近居家族が担ってきた妊娠や出産、子育てへの支援機能を高め、将来の世代である「草津っ子」を育む喜びを市民全体で共有できる社会に向けた機運の醸成を図るとともに、行政の支援を総合的に情報発信し、民間事業者による主体的な子育て支援の取り組みを促進することにより、妊娠や出産、子育ての不安を取り除き、安心して子育てができる社会の実現を図る。
事業の内容 (取り組み)	(どういった仕事の内容を、どのような手法・やり方で実施したのか？) 乳幼児から小学生の子どもを持つ保護者を対象に、すくすく「草津っ子」の体づくりをテーマに「草津っ子」シンポジウムを開催し、食育や運動に関する講演やパネルディスカッションを行った。 また、行政や民間の子育て支援に関する情報を、迅速かつ分かりやすく提供するために、子育て応援サイト「ぼかぼかタウン」を再構築するとともに、アプリを新たに構築し、行政の各種事業や子育てサークルの活動などの情報発信を行った。

■ 予算・決算状況

		当初予算の状況					決算の状況・実績				
内訳・詳細		○「草津っ子」シンポジウム開催費 368千円 ○子育て応援サイト・アプリ構築費 9,632千円					○「草津っ子」シンポジウム開催費 196千円 ○子育て応援サイト・アプリ構築費 6,840千円				
事業費(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源	合計	国県	市債	その他	一般財源	
	予算・決算額	10,000	10,000			0	7,036		1,950	5,086	
	前年度比	742%					621%				
◆「当初予算額」と「決算額」の増減理由(事業の進捗状況等)		当初予算では、国の交付金を活用して事業を実施する予定であったが、交付金の対象事業としては不採択となったため、事業の経費を節減のうえ執行した。 なお、経費の節減による事業費の減額と交付金の不採択による財源更正は、平成29年2月定例会において補正予算を議決いただいた。									
◆平成27年度 事業費(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源	合計	国県	市債	その他	一般財源	
	1,347				1,347	1,133				1,133	

■ 事業所管部署による評価

	評価	項目	評価の理由・評価に関する説明
必要性	3	市民ニーズが高い	少子化対策については、社会全体の機運の醸成が必要であり、当事業の実施によって子育てに温かい社会づくりの機運の醸成を図る必要があるため。
	3	市の他の政策よりも優先的に実施すべきである	
	2	対象および内容が類似する事業がない	
妥当性	1	法令により実施することが義務付けられている	まち・ひと・しごと創生総合戦略において、「結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえる」を戦略プロジェクトの1つとし、結婚から子育てまでの希望をかなえる支援を行うものと位置づけているため。
	1	法令に定められた市の責務を具現化して実施する事業である	
	4	上位計画に明確に事業が位置づけられている	
	1	国・県・民間の類似サービスと重複していない	
	1	市民の基本的生活の維持・確保に必要な事業、または内部事務である	
効率性	3	他の手法に比べて効率のよい事業手法である	子育て応援サイト・アプリは、多くの市民に利用されており、効率的な事業手法であり、コストも適正である。
	3	コスト削減の余地はない	
	4	受益者一人当たりのコストは適正である	
	4	受益者負担や補助の割合に問題はない	
継続性	3	事業を継続することで、さらなる効果が見込まれる	地域で安心して子育てができるよう支援していく必要があるため、事業の継続は必要である。
	3	所期の目的を達成しておらず、引き続き実施する必要がある	
	3	社会状況の変化に対応した事業内容である	
成果	3	当該年度の事業目的を達成できた	シンポジウム参加者アンケートの中でも、子育ての参考になった、自宅で実践したいなどの回答が多くみられたことから、評価が得られているものと考える。
	3	受益者の評価が得られている	
	3	費用対効果が大きい	

↑ 次の4段階により該当する数値を記入してください。

(4.よく当てはまる。 3.おおよそ当てはまる。 2.あまり当てはまらない。 1.ほとんど当てはまらない。)

■ 事業実施効果および課題、将来展望

事業実施効果	<p>「草津っ子」シンポジウムでは、乳幼児から小学生の子どもの体づくり(食育や運動など)について、44人の方に参加いただいた。(平成27年度参加者36人) また、子育て応援サイト・アプリ「ぼかぼかタウン」を構築し、平成29年3月から運用を開始した。平成29年3月末時点でスマートフォン等でのアプリダウンロード数が487件、サイトページ閲覧数が約53,000件であった。</p>					
事業に対する市民の意見、反応	<p>シンポジウム参加者からは、内容がわかりやすくていい参考になった、託児があって助かったなどの意見があった。 子育て応援サイト・アプリ「ぼかぼかタウン」は、利用者のおよそ9割がスマートフォンからの閲覧で、子育て世代を中心に情報提供・共有の利便性が向上した。</p>					
事業の今後の課題、将来展望	<p>子育てに温かい社会づくりの機運の醸成を図るために、平成29年度も継続して「草津っ子」シンポジウムを開催する。 また、子育て応援サイト・アプリ「ぼかぼかタウン」については、情報提供・共有のツールとして積極的に活用するよう周知・啓発を行い、子育て情報を充実させ利便性の向上を図る。</p>					
※平成29年度の予算措置	予算額(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源
		2,211				2,211
	28年度比積算根拠	22%				
		<p>○「草津っ子」シンポジウム開催費 353千円 ○子育て応援サイト・アプリ運営保守料 1,858千円</p>				

※ 当該事業が平成28年度に終了した場合は、当該事業に代わって措置した予算や関連予算を記載してください。